

神鋼鋼板加工 職場の魅力を可視化し関心高める

神戸製鋼所系厚板溶断業の神鋼鋼板加工(本社・千葉県市川市、社長・水上孝一氏)が、事務所および現場におけるさまざまな自主活動や取り組みを「魅せる」ことで来訪者の印象や関心を高め、社員のやる気やモチベーションアップにもつなげることを目的に実施する「ショールーム化活動」が定着しつつある。

入口刷新、工場にBGM

現場では作業着や防寒た。メットも役職別に色分けし

事務所の入口には、訪問者、ヘルメットに工夫を凝らす。今の時期は、薄手の。工場内では音楽が流れ客の来社に合わせて企業名と氏名を記したウエルカムボードを設置するほか、季節に合わせて装飾を施したり、熱中症予防の一助とする。見学者にも好評で、アンケートで「第一印象を良くしていい」を感じさせない。ヘルメットにも「よかった」「新

「ショールーム化活動」着々

鮮に感じた」といった感想が多い。
「魅せる」取り組みは、ほかにもある。工場見学者への各設備や場内レイアウトの説明の際、3D表示に改良したことによって分かりやすさを増した。場内の安全・美化にも力を入れ、挨拶運動の励行により職場での挨拶意識も向上している。

直近では会社案内にもひと工夫を加え、ホームページや加工設備の説明動画のQRコードを貼付。また、YouTubeチャンネル「神鋼鋼板加工 official」を開設し、危険体感訓練の様子を動画にまとめて公開した。設備更新時の工事風景や安全祈願など種々の動画もアップ中。

訪問者の満足度向上へ

同社は2022年度に社内で「ショールーム化」を提唱し、23年度から本格的に着手。独自に「魅せる職場づくり」を推し進め、来る。

訪者や見学者の満足度を高めるとともに魅力を感じてもらえるよう、さまざまな切り口で発信する。

ブランディング戦略の一環でもあり、近隣の学生に

工場レイアウト図を3D化し紹介



魅せるエントランス



半袖ポロシャツもOK

